

ホワイト企業を探して

株式会社グッドバンカー
リサーチチーム

来春卒業予定の学生の就職活動が三月からはじまり、また、四月は希望を胸に入社の季節でもあります。しかし求人をめぐるトラブルや、社員を過酷な労働に追いこむ「ブラック企業」のケースは、あとをたちません。

入社前にこのようなブラック企業を見分けるためにも、学生時代のアルバイト経験が役にたつかも知れません。「居酒屋」は学生にとって一番手っとり早いアルバイトですが、その仕事は、マニュアルに沿ったルーティンで、知的要素もなく、苦役に近い低賃金の時間の切り売りで、過労自殺訴訟もおこされるなど、「ブラック企業」に近い職場のイメージがあります。

そういった居酒屋のなかで、最近はやっており、その上働きやすいという評判で学生が殺到、採用応募倍率が9倍にものぼり、就活指導までしてくれるところがあると聞いて、当社のSRIアナリストがさっそく、食事がてら見聞に出かけたレポートです。

広いフロアにはスタッフが内側に入るカウンター席が中央にあり、壁沿いに、テーブル席がならんでいます。居酒屋特有の騒がしさが全くなく、落ちついた雰囲気、女性スタッフが明るくむかえてくれました。

「評判を聞いて、偵察に来た」と言うと、にこやかな表情を変えず「どうぞ遠慮なく聞いて下さい。同業者がいらっしゃるのは慣れていきますから」と、すっかり同業者とまちがわれてしまいました。

いよいよ本題の「学生にとって働きがいのある職場」であるかについては、「きちんとした研修を受けてから配属され、シフトの強要がない。何よりもアルバイトの自主性を重んじ、積極的な提言が奨励されていて、仕事が楽しく感じられる」と明言しました。

「本当に、就職活動の指導までしてくれているのか」についても、専門講師によるセミナーや相談会が開かれているとのこと。

彼女のほほえみと、やわらかい物腰に加え、その的確な受け答え、尊敬語、丁寧語、謙譲語がきちんと使い分けられた言葉遣いの正確さは、最近まで大学教授として、学生を身近に見てきた筆者には、驚くほどの質の高さで、気持ちよく話が弾みました。料理のおいしさもさることながら、その接客サービスが何よりも人気の秘密だろうと思いました。従来の居酒屋の常識にこだわらず、学生アルバイトも貴重なアセットとして扱い、不良債権にならないよう気を配る、このような会社こそ、ブラック企業ならぬ「ホワイト企業」ではないでしょうか。

日本のSRI市場では非上場の企業への投資商品はまだありません。しかし、いずれこの居酒屋運営会社が上場するかもしれず、その時は是非投資をするべく、今後もウォッチするという結論に至りました。

このように、将来のホワイト企業を探して、たえずアンテナをはっておくことも、SRIアナリストの仕事です。